

令和3年度コロナを乗り越え未来につながる農林水産DX人材育成事業業務委託に関する質問及び回答

質問①

研修参加者同士の交流・情報交換会の実施について、みえフードイノベーションプラットフォームのfacebook ページ内での交流を促進するということでしょうか？それとも本事業のfacebook グループを独自に立ち上げるイメージでしょうか？

みえフードイノベーションプラットフォームの会員専用の交流機能を活用し、プラットフォームのFacebook ページに新しくグループを立ち上げます。

なお、研修参加者へみえフードイノベーションプラットフォーム (<https://www.miefood-i.jp>) に登録していただくようご案内ください。

質問②

研修参加者同士の交流・情報交換会の実施について、基礎研修が終わった段階で実施し、また実践研修終了後にもそれぞれのテーマ別に実施するイメージでしょうか？それともすべての研修終了後にまとめて行うイメージでしょうか？

研修参加者同士の交流・情報交換会については、基本研修参加者を対象に研修終了後に実施するものと、実践研修参加者を対象に研修終了後に各テーマ別に実施するものを、それぞれ別々に実施します。

質問③

講師等の専門家による実践研修参加者のフォローアップの実施について、文中にある選定委員会は外部の専門家等の招聘も行いますか？

選定委員会への外部専門家の招聘は必須ではありません。

質問④

提出する書類に印鑑は不要でしょうか。

今回の企画提案コンペで、必要に応じご提出頂く様式（第1号から第5号）については、押印を不要としています。

質問⑤

受託した場合、事業終了時、委託料の請求に際しては発生原価の証跡書類（原価支払に際しての領収書原本等）や人件費発生 of 証跡書類（賃金台帳等の個々の人件費支給の根拠書類等）の提出は不要の認識で宜しいでしょうか。（実施報告書はご提出する前提でのご質問になります。）

発生原価や人件費の証跡書類の提出は不要ですが、業務完了報告書が提出された後に、仕様書どおりに業務が実施されたことを確認させていただきます。なお、後日実施される会計検査等で提示を求められることがあります。

質問⑥

フォローアップを受ける研修参加者の選考ですが、本事業を最も効果的に実施するという目的において、オンライン研修の実施前、又はオンライン研修期間の途中に選考を実施し、オンライン研修期間中にフォローアップを同時進行することも可能でしょうか。また、それが可能な場合、留意すべきことがありましたらご教示いただけますでしょうか。

フォローアップの対象先は、実践研修の参加者であることを要件としますので、実践研修の実施前の選考はできません。各テーマの第1回目の実践研修終了以降の選定として業務執行スケジュールの提案をお願いします。

質問⑦

フォローアップの実施について1事業者について上限5回とありますが1事業者ごと別日で行う必要がありますでしょうか。効果等を考えた場合、複数事業者を1日で同時にフォローアップを行うことは可能でしょうか。

1日に複数の事業者のフォローアップを行うことも可能です。オンラインと現地訪問を組み合わせ効果的に実施してください。なお、フォローアップは個別事業者ごとに実施してください。

質問⑧

費用積算書では人件費項目がありますが、弊社では人件費は個人情報にあたるため、各商品の提供価格で積算いたしますが、問題ないでしょうか。

問題ございません。

質問⑨

プレゼンテーション大会について、表彰については大会と同じ日に行うイメージでしょうか。別途日付を設定する必要がありますでしょうか。

表彰については、プレゼンテーション大会の開催日に実施することとします。